

牛久：学校周辺に見る自然

第36号 牛久二小

2012年11月2日発行

＜ 秋の動物たち ②トンボの仲間＞

牛久二小4年2組との「校庭の秋の生き物観察」、今回は、トンボの仲間です。



アキアカネの交尾。上の腹部全体がまっ赤な方がオス。メスは腹部の背面だけが赤くなる（下左）。



校庭のあちこちで、アキアカネ^{こうび}の交尾が見られました。9/7の観察時と違い、ナツアカネはほとんど見あたりませんでしたね。中には、水たまりに産卵^{さんらん}しているのを見つけたお友だちもいました。水をぬいた田んぼにも産卵し、春になって水が入ると孵化^{ふか}するそうです。トンボの仲間はほとんどが幼虫^{ようちゆう}で越冬^{えつとう}しますが、赤とんぼの仲間は卵で越冬するのです。



アキアカネのオス(左)とナツアカネのオス(右)。胸部の黒い線の違いや、ナツアカネでは胸部全体がまっ赤になり、顔までまっ赤になることなどから見分けられる。赤とんぼの仲間は、他の多くのトンボと違い卵で越冬する。



陽ざしに美しく輝くオオアオイトトンボ。文字通り、日本最大のアオイトトンボ。腹部第10節だけが白くなるのが特徴（左）。樹皮の下に産卵し、卵で越冬する。

翅（はね）を開いたままとまる、大型のアオイトトンボも見つけてくれましたね。オオアオイトトンボのオスです。似た仲間もありますが、左のように腹部第10節だけが白くなるのが特徴。このトンボは樹木の樹皮の下に産卵するようで、一度そのようすを観察してみたいと思っています。このトンボが見られなくなると、もうトンボの季節も終わりだなあと、いつも思います。また来年までのお楽しみです。と、ここまで書いて、「そうだ、成虫越冬のトンボもいるではないか」と思いなおしました。その名もホソミオツネトンボ（細身越冬とんぼ：22年度71号参考）。また、冬に見つけたらお知らせしますね。

【理科支援員 宮内】

